

楽しいワクワクする生活しませんか？ 40



うるまカイロでは毎日の生活をハッピーワクワク をモットーとしています。
私、松野は過去のストレスから体調不良をおこし、ストレスとはなんだろう？と興味を持ち
今ではメンタル心理カウンセラーの資格まで取得しましたが、私と同じようにストレスを抱え
て、そのストレスから痛みや病気に派生して苦しんでいる人も多いように思えます。
きじポ～新聞では、日頃のストレスや心の健康を意識できるように、そしてみなさんと一緒に
高齡になっても元気に動けるハピワク健康長寿な生活ができればいいな～と思ひ書きます。

「健康第一！、病は気(意識、イメージ、元気)から！」

さて今回も前回に続き、心に響く格言を「鬼滅の刃」から抜粋して書きます。

鬼滅の刃とは、家族を鬼に惨殺された少年(竈門丹次郎:かまとたんじろう)が鬼に復讐する漫画。
アニメ映画としてジブリアニメが持っていた記録を抜き、2021年に日本興行収入1位になりました。
そして、なんと9月25日には、早くもその映画「無限列車編」がTVで放送されます。

「きっかけさえあれば人の心は開くから大丈夫」 by 胡蝶カナエ

鬼を滅する鬼殺隊員には、男性のみならず女性も剣士として加わっています。

その女性剣士の一人に胡蝶カナヲがいます。

カナヲは、今回紹介する格言を言った胡蝶カナエの妹ですが、血は繋がっていません。

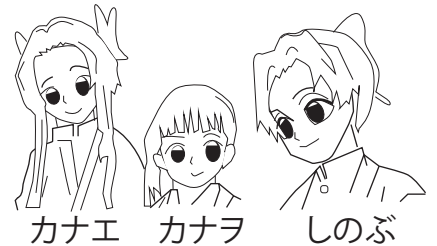
カナヲは、小さい頃に両親からイジメを受けていました。

当然、小さい時にイジメられれば泣いてしまいますが、両親はそれを見てカナヲを殴る蹴る、水に鎮めるなどの虐待をします。

その虐待は、兄妹を殺してしまうほどの異常なものでした。

そんな生活が続きカナヲは心が閉ざしてしまいます。

そして、ついには人買いに売り飛ばされてしまいました。



カナエ

カナヲ

しのぶ

人買いに連れられて町中を歩いている時、胡蝶カナエとしのぶに救いされます。

結果的に鬼殺隊に育てられることになるので、救いだされたのが微妙なところです。

そして鬼殺隊の猛特訓が始まりますが、姉弟子の胡蝶しのぶから

「一つ一つ言われないと行動しないから訓練にならない」

と愛想をつかれます。

「きっかけさえあれば人の心は開くから大丈夫」は、その時の胡蝶カナエの言葉です。

どんな元気な人でも何かをきっかけに心を閉ざしてしまうことはあるものです。

大きな悲しい経験からの喪失感、先が見えない程の絶望感。

元々感情を表にだすことができない人もいるかもしれません。

そういう状況になってしまったら「治したい」と思っても簡単に治る訳ではありません。

カナヲは、この言葉のように性格が熱すぎる主人公(丹次郎)との出会いをきっかけにして、徐々に心を開いていけるようになりました。

この適当なイラストを
描くの1時間かかった。